

大分森林管理署 交渉(全国林野関連労働組合大分森林管理署分会)
議事要旨

1 日 時 平成29年6月13日(火) 16:15~17:15(60分)

2 場 所 大分森林管理署 会議室

3 出席者

大分森林管理署	川畑 宏二	署長
同	濱田 辰広	次長
同	山本 克郎	総括事務管理官

全国林野関連労働組合大分森林管理署分会	川原 博	委員長
同	中村 健一	副委員長
同	廣田 光春	副委員長
同	後藤 一哉	書記長
同	三國 稔典	執行委員

4 交渉事項

- (1)労働安全衛生の確保について
- (2)空席ポスト解消に伴う職員の負担軽減について
- (3)官用車の更新について

5 議事概要

(1)労働安全衛生の確保について

組合)昨年度の請負事業体等の災害は一步間違えば重大災害に繋がり兼ねない災害であり、職員への影響も少なくないことから、今後も職員や請負事業体等も含め国有林からは災害を出さないという強い気持ちで各種安全対策等に取り組むこと。

当局)当署管内から災害を出さないという強い気持ちで安全対策に取り組んで参りたい。

組合)ストレスチェック制度の活用等実効性のある取組をお願いします。

当局)全ての職員がストレスチェックを受けるよう取り組むとともに、職員が心の不健康とならないよう努めて参りたい。

(2)空席ポスト解消に伴う職員の負担軽減について

組合)職員の超過勤務・年休取得について、森林事務所森林官等はいくつもの担当区の業務や現場までの長距離移動などにより超過勤務が多くなっている。また、上級ポストの業務を下位の職員が担当していること等から年休が取得しづらい状況にあると感じている。超過勤務の縮小及び計画的な年休の取得に向けて職員への声かけを行うこと。

当局)超過勤務について、1年の中で業務の濃淡があり、必要な場合には超過勤務を指示することになる。また、年休取得については昨年度より取得日数は進んでいるが、今後も年休が取得しやすい職場環境作りに努力して参りたい。

組合)職員の年齢構成について、現在、55歳の職員が多数を占めており、また、入庁者が少ないことから必要なポストに職員が配置されていない状況。このような職場実態の状況を上部へ伝えること。

当局)年齢構成では50歳代が職員の約半数を占めており、上部でも十分理解し対応していることと考えているが、改めて上部へ伝えて参りたい。

組合)現在、青山森林事務所首席森林官が事務取扱いとなっているが、早期に事務取扱いが解消されるよう取り組むこと。

当局)今後も引き続き事務取扱いが解消できるよう努めて参りたい。

(3)官用車の更新について

組合)オイルの消耗が早い車両や古い車両を使用している。安全上からも問題があることから、早く車両の更新をすること。

当局)官用車の更新について、今後も安全第一を考えて車両の更新等に対応して参りたい。